

講義名	栄養指導論Ⅱ
開講学年	2
単位	2

授業の達成目標	1. 各ライフステージの特性、食生活上の問題や課題について理解を深め、それぞれに適した栄養アセスメントや栄養教育（指導）方法を習得する。 2. 傷病者、障がい者、アスリートの特性や栄養教育の留意事項を理解し、栄養教育（指導）プログラムの検討ができるようになる。
授業の概要	各ライフステージの特性、食生活上の問題や課題、および傷病者、障がい者、アスリートの栄養教育の留意事項について説明する。 各ライフステージの栄養指導（教育）方法について、栄養指導論Ⅰにおける学習内容を活用し講義する。
授業形式	講義および事例検討，演習

授業計画表

回	項目	内容	キーワード・備考
1	ライフステージ・ライフスタイルからみた栄養教育の実際	オリエンテーション ライフステージにおけるおもな栄養教育の場と特徴 多様な場（セッティング）における展開	ライフステージ セッティング
2	妊娠期、授乳期の栄養教育	妊娠、授乳期の特性と留意事項 栄養教育のためのアセスメント、プランニング	DOHaD, 妊娠中に過剰摂取と摂取不足注意したい栄養素など，産後うつ
3	乳児期の栄養教育-1	乳児期の特性と留意事項 乳汁栄養法	母乳栄養，人工栄養
4	乳児期の栄養教育-2	離乳期栄養 栄養教育のためのアセスメント、プランニング	離乳食の進め方（授乳・離乳の支援ガイドから）
5	幼児期の栄養教育	幼児期の特性と留意事項 栄養教育のためのアセスメント、プランニング	食行動の発達，食に関する問題行動、食育
6	学童期の栄養教育	学童期の特性と留意事項 栄養教育のためのアセスメント、プランニング	肥満とやせ，朝食欠食，孤食，食育
7	思春期の栄養教育	思春期の特性と留意事項 栄養教育のためのアセスメント、プランニング	栄養摂取量，肥満とやせ，ボディイメージ
8	成人期の栄養教育-1	成人期の特性と留意事項 栄養教育のためのアセスメント、プランニング	肥満とやせ，運動習慣，睡眠，更年期，THP など

9	成人期の 栄養教育-2	特定健康診査・特定保健指導	積極的支援, 動機づけ支援 特定保健指導実施者, 階層化, 実施形態
10	高齢期の 栄養教育	高齢期の特性と留意事項 栄養教育のためのアセスメント、プランニング	高齢者の食事摂取基準, 低栄養 (GLIM 基準), 介護保険制度
11	傷病者の 栄養教育	傷病者の健康・生活の特性 医療と保健・福祉の連携による栄養教育 栄養教育のためのアセスメント、プランニング	クリニカルパス, 栄養食事指導料, NST
12	障がい者の 栄養教育	障がい者の栄養教育プログラムの検討 障がい者の定義と現状, 栄養教育の留意点 栄養教育のためのアセスメント、プランニング	障害者基本法, ノーマライゼーション
13	アスリートの 栄養教育	アスリートの特性と栄養教育 成長期のスポーツ栄養 栄養教育のためのアセスメント、プランニング	スポーツ栄養マネジメント, 公認スポーツ栄養士, 相対的エネルギー不足 準備期, 調整期, 休養期
14	活動分野で行 う栄養指導(教 育)	栄養士の活動分野の特性と栄養教育の 進め方	病院, 福祉, 学校, 行政の栄 養士の役割
15	栄養指導論Ⅱ のまとめ	単元のポイント(復習)と質疑応答	

事前・事後学習の内容	事前に教科書にて学習内容を確認する。
成績評価の方法	提出物(演習など)と*授業態度:10% 学期末試験:90% *演習の取り組み態度, 忘れ物, 私語, 不必要な携帯電話の使用など、問題 のある場合減点とする 評価基準は合計 90 点以上: S、85~89 点: A+、80~84 点: A、 75~79 点: B+、70~74 点: B、65~69 点: C+、60~64 点: C、 59 点以下: D とし、D は不合格とする。 ただし、出席が 2/3 未満の場合は評価をせず不合格とする。
参考書	適宜、資料, プリントの配布
教材	教科書(栄養教育論: 医歯薬出版)